

NPO 横断型基幹科学技術研究団体連合  
2005 年度 第 2 回理事会 議事録 抄録

日時：2005 年 12 月 5 日（月）15:00 ～ 17:00

場所：東京工業大学 田町校舎 キャンパスイノベーションセンター708 号室（東京都港区芝浦）

出席者：（敬称略、順不同）

理事：（副会長）：木村英紀、江尻正員

理事：旭岡勝義、岩岡秀人、岡本吉晴、鈴木久敏、出口光一郎、林 利弘、原 辰次、  
原田 昭、廣田 薫、藤井眞理子、松永 是

委任状提出者：吉川弘之、石原 直、木村忠正、舘 暲、安岡善文、柳川 堯

事務局：井上雄一郎、清水祐美

I. 理事会成立の確認：理事総数 23、出席者 19（うち、委任状提出者 6）

II. 議長の選任および議事録署名人の指名

議長：江尻正員副会長

議事録署名人：江尻正員副会長（議長）、木村英紀副会長、出口光一郎理事

III. 議事経過の概要および議決の結果

A. 報告・承認事項

1. 前回議事録の確認

前回理事会の議事録案および抄録を確認した。

2. 第 1 回横幹連合コンファレンスの報告（原理事）

横幹連合にとって初めての学術講演会である「第 1 回横幹連合コンファレンス」（11 月 25～26 日、長野市）を開催した。横断型基幹科学技術の学問としての深化と社会的問題の解決に向けた活動の活性化を目的とするこのコンファレンスでは、当初の目標を大きく上回り 220 件を超える論文発表が行われた。併催の第 48 回自動制御連合講演会と合わせて 758 名の参加者があり、盛況であった。

3. 会長懇談会の報告（原理事、岩岡理事）

横幹連合参加学会の会長懇談会（11 月 25 日、長野市）を開催し、「コトづくり長野宣言」の採択、今後の活動についての意見交換等を行った。長野市長のあいさつ、報道取材もあり、テレビのニュース、新聞で報道された。

また、意見交換では、同じテーマを扱う場合でも学問分野によって様々な差異があるが、それを乗り越えて、社会問題の解決に向け参加学会が協力していくことの重要性が確認された。

4. 各委員会等からの報告・提案等

(1) 企画委員会（木村副会長）

- ・第 1 回横幹連合コンファレンスの成果を生かした今後の展開についての討議等を行った。横幹連合として取り組むべき課題、具体的なテーマや手段の提案を、各理事にお願いしたい。
- ・企画委員会から、論文誌をジャーナルとして発行することの再検討、来年度に横幹科学技術の社会課題解決への貢献を核としたイベントの開催、産学連携体制の強化、を提案する。

(2) 事業・広報・出版委員会

(ア) 広報 WG（岡本理事）

- ・ホームページについて：リニューアルを進めている。英語版の要望が寄せられたので、日本語版に続いて公開できるよう、作業分担を決めた。
- ・ニューズレターについて：NPO 化、コンファレンス参加報告等を盛り込み、ウェブマガジン形式

での発行準備を進めている。配信は12月下旬の予定。

#### (イ) 出版

論文誌について討議を行った。その結果、和文を主とし、論文だけでなく内部を固める論議・啓蒙的な論議等も積極的に受け入れると言う条件で、出版担当理事が検討することとした。

#### (3) 学術・教育・国際委員会（鈴木理事）

調査研究会の設立手順ワークフローを整理した。また、調査研究会の制度があることをホームページ等で周知していくこととした。

### B. 審議事項

#### 1. NPO 法人の予算等について（事務局）

任意団体の最終収支計算書、NPO 法人設立時の資産に基づいて作成された NPO 法人の予算案を承認した。この予算案は当初予算を既執行分だけ修正したものであり組み換えではないことを確認した。

#### 2. 産学連携委員会の体制強化について

- ・産学連携委員会の体制強化のため、役員分担を次のように変更することとした。

担当 正：鈴木久敏理事

副：現在の石原 直理事、藤井眞理子理事、原 辰次理事

- ・横幹技術協議会より設置要請があった「横幹産学相談室」については、産学連携委員会が対応することとした。

#### 3. 「リスク研究ネットワーク」への参加依頼について

「リスク解析戦力研究センター」からの「リスク研究ネットワーク」への参加依頼を承諾し、「リスクの可視化・計量化」調査研究会が対応することとした。

#### 4. 来年度の役員選出、総会開催日程について

##### (1) 来年度の役員選出について検討し、次のようにすることとした。

- ・2006年度の役員候補は、会員学会と役員に、それぞれ推薦を依頼する。
- ・候補推薦を取りまとめるために「次期役員選考委員会」を設置し、メンバーを次の通り指名する。  
委員長：江尻副会長 委員：木下理事、鈴木理事、出口理事、井上事務局長
- ・定款付則に基づき、2006年度は理事の半数が任期1年となることを確認した。

#### 5. 横幹連合コンファレンスの今後の運営方針について

第2回横幹連合コンファレンスの開催時期等について討議し、次のようにすることとした。

- ・横幹連合コンファレンスは2年ごとの開催とする。コンファレンスを開催しない年には、小規模の学術講演会等を開催するが、名称は「コンファレンス」とはしない。
- ・2006年度にどのような学術講演会等を開催するか、次回の理事会で方向性を決め、4月の総会で予定を発表する。本件の実行委員長は、木村副会長とする。

#### 6. 「開発・設計プロセス工学」調査研究会からの資金援助要請について

「開発・設計プロセス工学」調査研究会より資金援助要請があり、討議の結果、承認した。

### IV. その他

#### 1. 協賛依頼への対応について

次の2つの協賛依頼を承諾することとした。

(1) 「Design シンポジウム 2006」（主催：日本機械学会ほか）

(2) 「IEEE 東京支部 50 周年設立記念レモニー」（主催：IEEE 東京支部・IEEE Japan Council）

以上